

FOOD REBORN

捨てるものがない明日へ

本資料は2022年10月31日に実施したプレスリリースにおける当社のプレゼンテーション資料です。
当社の事業概要をご理解いただくためのご参考資料として掲示致します。

フードリボン会社概要

会社名	株式会社フードリボン
設立	2017年9月20日
資本金	4000万円
代表者	代表取締役社長 宇田 悦子
本社	〒905-1304 沖縄県国頭郡大宜味村字饒波 2216-1
那覇事務所	〒900-0006 沖縄県那覇市赤嶺 2-7-11 2F
事業内容	天然繊維素材事業 / 生分解性材料開発事業 / 地域産物製品の直販事業



沿革

創業 → 繊維抽出の研究開発期間 → 事業化フェーズ →

2017

設立

シークワサー事業開始

2018

世界自然遺産応援プロジェクト 発表

2019

パイナップルの葉繊維の研究開発開始
本社を大宜味村へ

2020

台湾とパイナップル繊維事業推進協定締結発表

2021

経営革新計画 承認企業となる
沖縄県内のスタートアップ企業の主要10社
オキナワスタートアッププログラム採択

2022

新型の繊維抽出機械の開発に成功
県内での繊維抽出を本格的に開始
クラウドファンディングで資金調達成功
パイナップル葉繊維ストロー販売開始

3月

世界最高級のシーアイランドコットン
(海島綿)の試験栽培を開始

7月

IVS NAHAにて準優勝

沖縄県 大宜味村のシークワサーの果皮ごと製品化する事業からスタート

Say "thank you" to the future.



フードリボンの原点にあるのは、おばあ、おじいの生き方から教えてもらったこと



Purpose

Purpose

自分達だけのこと、自分達世代のことだけでなく、
子供や孫の世代の幸せを願い行動できる世界を創ります。

Vision

Vision

捨てるものがない、循環型の社会を実現

環境汚染産業 第1位は石油産業 第2位はファッション産業

その要因は

素材

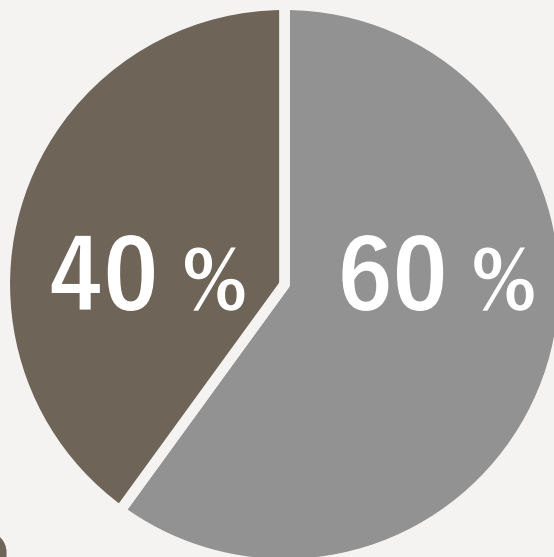


世界で流通する衣服の素材

天然繊維



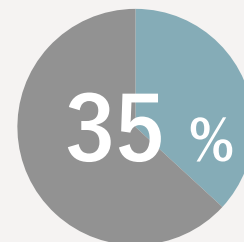
天然繊維の代表コットン
さまざまな課題がある



化学繊維



海洋マイクロプラスチック



コットンの様々な問題

水の大量使用



農薬使用量 No.1



児童労働



オーガニックコットン、サステナブルな天然繊維が求められている

オーガニックコットン栽培の現状

【オーガニック普及のハードル】

無農薬には3年

収穫量・品質の低下

認証機関の認定が必要

【オーガニックコットンの普及率】

1%以下
(30万トン)



パイナップルの葉から繊維が抽出できることに着目



繊維の原料になる隠れた農業資源

パイナップルの葉



果実の2~3倍
約6000万t

バナナの茎



果実の10倍
約10億t

未利用農産資源由来の繊維ポテンシャル

FARMERS TEXTILE



世界のコットン
年間生産量

2700万トン



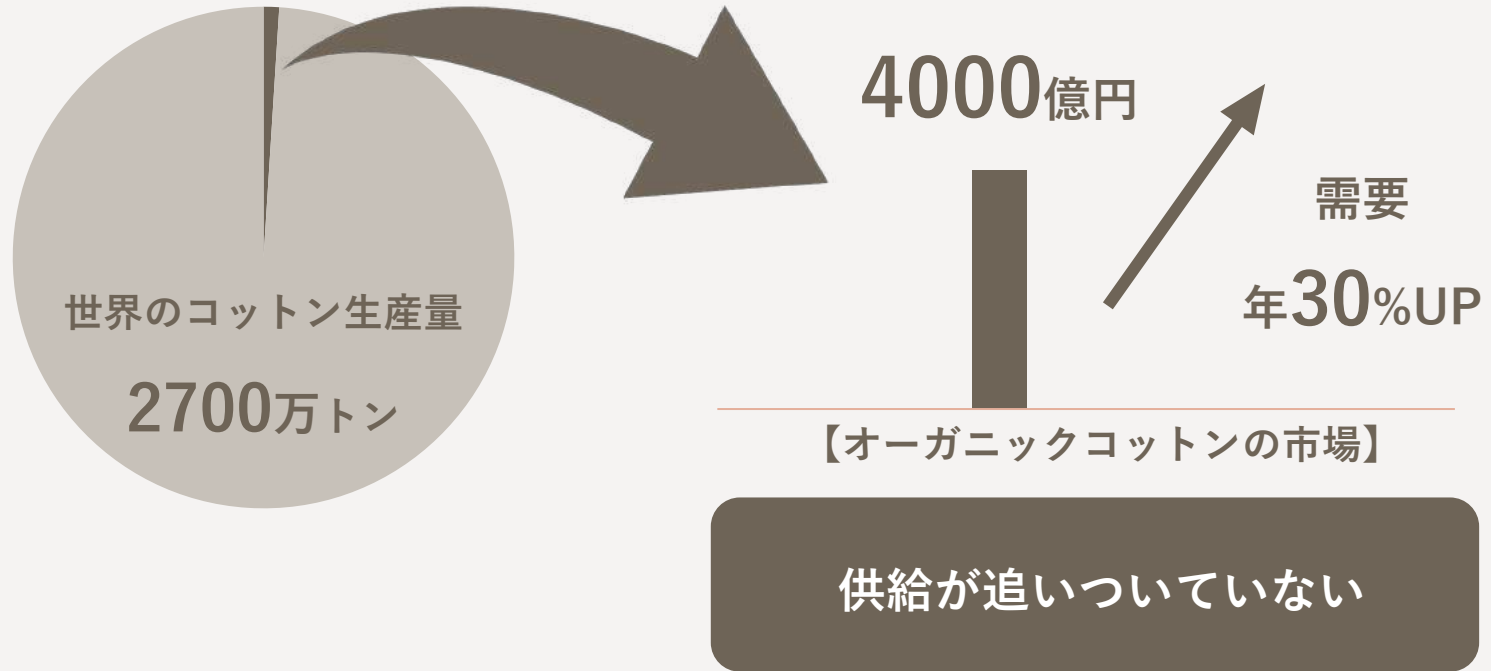
パイナップルの葉




バナナの茎

持続可能な天然繊維として大きな可能性がある

市場ニーズ



従来の繊維抽出技術の課題



生産効率が
悪い

品質が
低い

コストが
高い

課題を解決する画期的な繊維抽出技術 ※特許申請中



従来の長い工程をカット
繊維への負担を削減



生産効率・品質アップ

繊維抽出装置のコンパクト化に成功



現地の畑で作業が可能
重たい葉や茎の運搬が不要
繊維の状態ですべる

搬送量を**大幅**削減



原価コスト削減

社会課題解決ビジネスの仕組み



各国政府
連携のもと

農家所得向上

繊維の開発によって生まれる2つの価値

環境負荷と倫理的課題解決となる
生産背景の見える繊維素材

人権配慮

環境配慮



繊維自体の魅力の研究開発
新たな高級繊維素材

エビデンス

伝統との融合



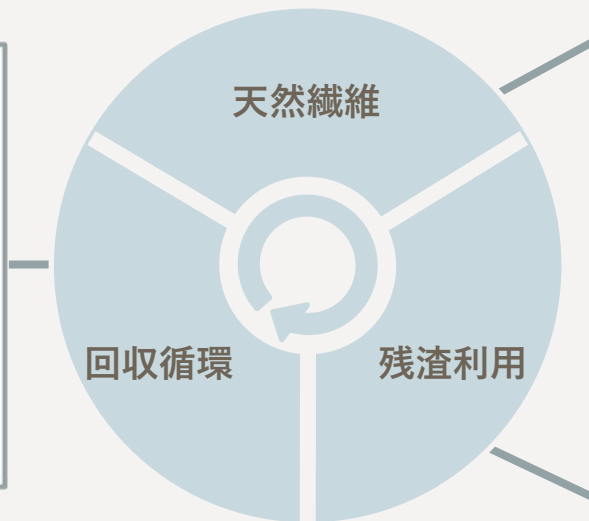
FARMERS TEXTILE

世界のファッション産業へ、新たな素材革命の旋風を起こす

捨てるものがない循環で、社会課題の解決を目指す



天然繊維循環国際協会
土から生まれたものを土に還す
緑化資材・農業資材への資源再活用



FARMERS TEXTILE
パイナップル、バナナなど
様々な未利用農産物から繊維を抽出



生分解性素材
繊維を取り出す時の残渣活用

FOOD REBORNの考え方

環境負荷が少ない
材料100%で
使い勝手が良い
製品化を目指し
研究開発



環境負荷の
少ない素材の
流通量を増やす



消費者の
環境意識を高め
負担の許容値を
増やす



事業展開について

現在

2022-2023

2023-2024

未利用農産資源から
天然繊維抽出する新技術を開発

沖縄県大宜味村に
天然繊維産業を創出

観光・教育・産業の
3つを叶える拠点へ

日台でアジア諸国へ共同展開 11月にインドネシア その後他国へ

沖縄から東南アジアへ展開
課題解決ビジネスへ



2022.10.20 台湾訪問
中原大学と産学連携協定



台湾紡績協会 TTRI と連携

FOOD REBORN

捨てるものがない明日へ

